

「大連立」党首会談と小沢代表「辞任」—第二幕

- 11・2 福田、小沢党首再会談→中断をはさみ会談再開
- 福田首相、「大連立」構想持出し、小沢代表一役員会に持帰り、猛反発にあう
 - 小沢代表(P9:30)→福田首相に大連立拒否を電話通告→11・3M(社)「大連立提案—民主党が拒否したのは当然だ」/Y(社)「党首会談—政策実現」へ『大連立』に踏み出せ
- 11・3 パキスタン—ムシャラム大統領、非常事態宣言(陸軍参謀長として)(11・4A)→11・4A「軍政維持へ強硬手段、パキスタン戒厳令—大統領、最高裁判決を前に—テレビ中断、携帯不通」
- 反ムシャラフ派 500 人拘束(11・5サ)→11・5 逮捕、拘束 1800 人、弁護士各地で連行(11・6Y)
 - ⇒11・9 野党主導者ブット氏を自宅軟禁、支持者ら 5000 人以上拘束(11・10T)
- 11・4 大連立情報戦—A「密議の真相情報戦—与党側『会談も連立も小沢氏から』、民主説明と食い違い」「参院選直後から動き—森・中川両氏パイプ役に—双方『相手が恒久法提案』/M「小沢氏『じゃあ、これで党内を説得しますから』—党首会談の全容、恒久法連決議原則で合意」「民主混乱—『一人クーデター』—小沢氏進退に波及も『大連立』賛否割れる自民—本紙全国アンケート、民主は反対一色」
- 11・4Y「『大連立』小沢氏から—『民主内絶対まとめる』、自衛隊派遣恒久法が条件—狙いは政策実現と衆院選戦略」「揺れる民主、強気の自民—『大連立』に党内疑心暗鬼、執行部は引き締め躍起/会期延長で調整本格化、政策の対話路線は維持」
 - 11・4T「検証—自・民『大連立構想』—お膳立て読売渡辺氏か」/H「首相と小沢氏『大連立』密室協議—列島あぜん、『民意はどこへいつちやったの』」「(主)自・民党首会談—民意を裏切る『密室談合』」

11・4 A〈大連立都道府県連調査〉—11・3 調査

●自民—評価 28／47、評価せず 13／47、その他 6／47

●民主—拒否を評価 44／47、評価せず 1／47、その他 2／47

11・4 民主・小沢一郎代表が辞意表明

〈記者会見要旨〉（11・5A）

「福田首相の求めによる2度の党首会談で、首相から要請のあった連立政権の樹立をめぐり、政治的混乱が生じたことを受け、党内外に対するけじめとして、党代表の職を辞することを決意し、執行部はじめ同僚議員に進退を委ねた。

「2回の党首会談で、首相は連立政権をつくりたいと要請し、安全保障政策について極めて重大な政策転換を決断した。ポイントは①国際平和協力に関する自衛隊の海外派遣は、国連安保理もしくは国連総会決議によって設立、あるいは国連の活動に限る。特定の国の軍事作戦は支持しない②新テロ特措法法案は出来れば通してほしいが、連立が成立するならあえてこだわらない。首相はその2点を確約した。これまでの無原則な安保政策を根本から転換し、国際平和協力の原則を確立するものであっただけに、これだけでも政策協議を開始するに値すると判断した。…

「民主党にとって次の衆院総選挙に勝利し、政権交代を実現することが最終目標。しかし、民主党はいまだ様々な面で力量不足しており、国民からも『政権担当能力があるのか』という疑問が提起され続け、次期衆院選での勝利は大変厳しい。…

政権への参加は、私の悲願である政権可能な二大政党制の定着と矛盾するどころか、民主党政権実現を早め、その定着を確実にする。

以上の考えに基づき、2日夜の党役員会で、首相の方針を説明し『政策協議を始めるべきではないか』と提案したが、残念ながら認められなかった。私が党代表として選任した役員から不信任を得たに等しい。よって、党代表として、また党首会談で誠実に対応してくれた福田首相に対し、けじめをつける必要があると判断した。

「もう一つ、(一部報道機関の) 中傷報道に厳重に抗議する。首相との会談に関する報道は、全く事実に反するのが目立つ。私から党首会談を呼びかけたとか、連立構想について『小沢首相説』まで報道されているが、事実無根だ。

「(今後の対応、離党) 離党なんて全く考えていない。今後の政治活動はこれからゆっくり考える」

「(役員会での反対は予想外だったか) 国連の活動以外は、自衛隊を海外に派遣しないというのは政府の方針・憲法解釈の大転換。これを首相が認めたという一事をもってしても、政策協議に入ることはいいと思った」

→11・5A 『小沢代表が辞意一連立『協議に値した』, 党側の拒否『不信任』一離党は否定』「辞意に衝撃、再編含み一小沢氏、連立急ぎ孤立一「民主、離党警戒、引き締め一政府・与党、取り込み期待」『剛腕小沢』仕掛け続け一逆転国会、攻め挫折一常に政局の中心に」「小沢派けじめ唐突一『国民の理解得られるか』、民主党内から不満噴出」

→11・5Y 『『小沢副総理』1度は合意、党首会談一閣僚、自10・民6・公1』「自衛隊の海外派遣、国連決議条件で『合意』一首相と小沢氏、活動限定問題化も」「小沢氏辞意表明一国会与党主導に、新テロ法案成立最優先」『『危機感』突出、小沢氏孤立一衆院選『厳しい』一大連立『鳩・菅』にも相談なし」

⇒11・5各紙社説一A「小沢代表辞意一『政権交代』は偽りだったのか」／M『小沢代表辞意一密室、独走の手法が不信招いた』／Y「小沢代表辞意一それでも大連立をめざすべきだ」／N「小沢代表辞意表明で混迷深まる民主党」／T『小沢代表辞任一『密室談合』の大失敗だ』／サ「小沢氏辞任表明一政策協議の道は閉ざすな」／→11・6H(主)『党首の辞任一民意貫く当り前の政治こそ』

→11・5A(世論調査)一11・3~4電話調査、回答2088人(59%)」

①福田内閣一支持率45%、不支持34%

- ②党首会談での福田首相の連立提案—評価 36%、評価せず 48%
- ③民主の連立受入れ拒否—評価 53%、評価せず 29%
- ④次回衆院選—できるだけ早く 35%、急ぐ必要ない 57%
- ⑤対テロ作戦での自衛隊活動の再開—必要 43%、不要 41%
- ⑥インド洋での自衛隊活動停止の国際的悪影響—悪い影響 50%、そう思わない 37%

- 11・5 **M**タ「小沢代表辞表、慰留困難強まる—鳩山幹事長『連立前提は無理』—安保協議は検討」「辞意表明—夜明け—『何せ突然』『大激震』—民主議員、情報収集に躍起」／**Y**タ「民主辞意ショック収まらず—鳩山幹事長、与党と協議容認—若手、独断に反発拡大」／**T**タ「小沢氏辞意—ダメージ払拭躍起、発言真意—自民に困惑」
- 11・4 (ワシントン) 日米財界人会議—日米の企業経営者らが参加する会議開幕—小沢代表辞任による「政治の混迷」が話題 (11・5Nタ)

小沢慰留の民主執行部と小沢氏「心の整理」

- 11・6 各紙朝刊
- 「小沢氏黙考—民主幹部意留に速答せず、『心の整理に時間』」「小沢氏『連立』、首相は『新法』—党首会談すれ違い」「民主動揺—小沢氏慰留『選挙に勝つため』—ハードル下げ幹部奔走」「岡田氏『ダメージはダメージ』—党批判で広がる不信感」「対決国会、民主が軟化—政治資金・被災者支援、与党案に歩み寄り—『大連立』騒ぎ影響?—他の野党、『共斗』に疑念」
- M**「代表辞意民主混迷—すぎる執行部、揺れる小沢氏—『壊し屋』の離党恐れ、『連立』主張から 軟化」「(社)大連立騒動—なんとも不可解な小沢氏の言動」
- Y**「封印解かれた『小沢批判』『小沢続投』民主幹部なぜ固執—集団離党強く警戒、後任適格者見当たらず」「小沢氏、存在感保持に自信か—辞

任でも続投でも」「民主と『話し合い』継続—国会運営で政府・与党—代表
辞意の影響懸念—新テロ法案対応試金石」

—T「幻惑の小沢流、民主オロオロー『選挙に勝つ体制確約なら考える』

「慰留に目を潤ませ…『ありがとう』—執行部、結束維持へすすがる思
い、『反主流』から続投求める声も」「(社)民主党—騒ぎの後始末が肝要だ」

—H「『反米』レッテルに恐怖?—激震・『大連立』と小沢辞意」

11・5 民主、小沢氏慰留に動く—役員会、連立なし条件で (11・5A夕)

⇒11・5 福田首相 (記者団)、小沢氏との会談で「新法にこだわらず」発
言否定—「私どもは新法は何とか可決していただきたい、給油活動はぜ
ひやりたいと思っている。一貫してそういうふうを考えている」「(小沢
氏が海外派遣は国連決議で認められた活動に限ると首相は確約したとの
説明に) そういう話もあった」「(連立協議をどちらが持ちかけたか) 互
いにそう気持ちが多少でもないと、そういうことにならない。あうんの
呼吸、そんな感じじゃないか」

⇒11・5 福田首相、伊吹自民幹事長に会期延長を指示—「補給支援特措法
法案の成立が可能になるような延長の設定をお願いしたい」(11・5A夕)

⇒11・5 民主役員会、小沢代表の慰留、自民との大連立認めず次期衆院選
で政権獲得目指す方針を確認→鳩山幹事長、菅代表代行ら、小沢氏と愛
辞意撤回を要請—小沢氏、回答留保—「ありがとう。しかし、昨日けじ
めという思いで辞職願いをだしたばかりで、まだ心の整理に時間がかか
る。待ってほしい」(11・6N)

⇒11・5 自民・中川秀直元幹事長 (自民党議員パーティで挨拶)「(大連立
構想) (衆院議員任期満了となる) 09年までの2年限定でもいい。その間
に社会保障や安全保障などの問題を協力して解決し、次の総選挙を小選
挙区制で堂々と戦えばいい」(11・6M)

11・5 断熱パネル偽装—東洋ゴム工業 (大阪市西区)、建材用断熱パネルの性能 試験を偽り、不正に大臣認定を取得していた (国土交通省発表) —少な くとも店舗、工場など 176 物件に使用し、さらに増える可能性—試験の

際燃えにくい素材を混入し耐熱性を3倍に偽装／92・10～04・5 民間性能評価機関「日本建築総合研究所」(大阪市)の試験受け大臣認定(11・6M)

⇒11・6 耐火材偽装—国交省、大臣認定受けている他のメーカーの建材全ての緊急調査を決める(11・6M夕)

⇒11・7 東洋ゴム—偽装断熱材使用建物176件の名称・所在地を公表—16都県(埼玉64,千葉15,東京13,神奈川8などの順)、全体の半数強の92件が店舗、うち71件がドラッグストア(11・8Y)

11・5 出生届不受理無戸籍訴訟逆転敗訴—東京高裁(藤村啓裁判長)、事実婚(無戸籍)の子の住民票作成を求めた訴訟で一審勝訴判決を取り消し—「出生届を出すと父母子が重大な不利益を被り、社会通念上、届出を期待できない場合に限って住民票を作成すべきだ」、「両親の個人的信条で届出を怠っているだけで、例外的に作成を求める場合に当たらない」と判示(11・6M)

11・4 中南米の変革—中米グアテマラ大統領選、中道左派・国民希望党党首アルバロ・コロン氏(56)当選—新自由主義と1線／グアテマラ—面積11万k㎡、人口1270万人の共和国、1838年メキシコから独立(11・6H)

11・6 A「サブプライム問題—米、損失拡大を懸念、シティ赤字の恐れ—日興と三角合併に暗雲」／N「サブプライム損失膨らむ—米メリルに続きシティが1兆円、金融市場に疑心暗鬼」「日本企業、北米で減速—サブプライム響く—コマツ、機械販売2ケタ減—トヨタなど、自動車輸出に陰り」
→11・8M「GM4兆円赤字—7～9月期、サブプライムで損失」
→11・8N夕「米モルガン、追加損失4200億円—10月末時点、サブプライム関連で」「米ドル・株急落—サブプライム影響拡大、経済の手詰まり感映す」
→11・9N「サブプライム楽観論後退、日経平均1万6000円割れ—米実態経済に影、利下げの効果消滅」／Y「原油高、サブプライム円高一不安連鎖、株安加速—企業業績にも暗雲」

→11・8米FBIバーナンキ議長、サブプライム焦げつきによる金融機関の損失総額が大まかな推定として最終的に1500億ドル（約17兆円）程度の可能性にのぼるとの見方を明らかにした（11・9A夕）

「恥をさらした」小沢代表の辞意撤回—大連立第3幕

11・6

小沢一郎氏、辞意撤回—「恥をさらすようだが、皆さんの意向を受けて、ぜひもう一度頑張りたい」と慰留受入れを表明（11・7A）

→11・7A「混迷の果て、元のさや—民主内、根深い不信—首相、なお大連立模索へ—逆転国会、共に苦悩」「2日で翻意、小沢騒動—『恥をさらすようだが』—うんざり／剛腕様変わり、ひ弱な印象／きちんと説明して」「社民主党—小沢氏慰留の情けなさ」

→11・7M「小沢代表辞意撤回—矛盾封印元のサヤ、辞任後展望開けず—政策、漂流状態も—与党、硬軟両用で攻勢」「野党から批判相次ぐ」「社小沢氏辞意撤回—正攻法に徹するしか道はない」

→11・7Y「挙党一致の慰留奏功—小沢氏のメンツ立てる、説得に目潤ます場面も—党内から疑心暗鬼の声も、民主に深い傷」「独善的手法には不満—党内『きちんと説明を』」

→11・7T「2日で元のさや小沢劇場、辞意撤回—衆院選にからみ『芝居？』、なぜ撤回したのか—大きすぎる降板リスク、なぜ慰留したのか」「『壊し屋』騒動、国民興ざめ—『がっかり』『分かりにくい』」「社小沢氏の翻意—説明筑紫党再建急げ」

→11・7T（共同通信社—11・5～6 全国緊急世論調査）

①福田内閣—支持率47%、不支持36.6%

②自・民の連立抗争—望ましくない56.4%、望ましい25.8%

③民主の連立提案拒否—受け入れなくてよかった55.9%、よくなかった23.5%

- ④小沢氏の代表辞任表明—適切でなかった 58.4%、適切だった 30.5%
- ⑤海自給油活動—再開すべき 46.1%、再開すべきでない 43.9%
- ⑥次期衆院選—来年前半までに 45.5%、来年後半までに 20.6%

辞意撤回—小沢氏の保守二党対立の論理

11・7

民主・小沢代表・続投正式表明（党両院議員懇談会で）

<発言要旨>

「党首会談をめぐり、国民、民主党の支持者、党員、同僚議員に迷惑をかけ、心よりおわびする。2日間沈思黙考、この体にもう一度むちを入れ、私の政治生命を来るべき総選挙にかけると決意した。御承知の通り、不器用で口下手な東北気質で、これが今回の混乱の一因だ。当初から党員、国民に私の思いを打ち明け、丁寧に説明すべきでなかったかと思う。

私は14年前、自民党を離党し、日本に議会制民主主義を定着させ、国民のための政策を実現する仕組み作りをめざした。私の唯一の行動原理で将来も変わらない。次の選挙で民主党政権を実現しなければ、死んでも死に切れないと必死だった。

参院選で参院第1党という極めて重い地位をいただいたが、その瞬間から二つの思いが深くなった。一つは次の総選挙で必ず勝利し、絶対に民主党政権を樹立しないといけないが、参院選後の楽観的考え方では勝利はおぼつかない。…私はその責任の重さと党の現状への危機感を毎日かみしめてきた。次の総選挙が私にとって最後の一戦であることは間違いない。

（もう一つは）…「ねじれ国会」でマニフェストで約束した国民生活第一の政策をどう実現するかだ。…国会の半分を担う民主党の責任への思いが深くなった。

この二つを同時に解決する方法はないか。政権の一翼を担えば、私た

ちの主要政策が実現し、政権担当能力を国民に示し、総選挙で勝つ可能性が高まると考えた。福田首相が最難関の安全保障で最大限の譲歩を示し、連立を打診された。二つの課題を同時に解決する一つの方法と考え、政策協議について役員会で話した。

今思えば『総選挙に向けて頑張ろう。わが先頭に立つ』とまとめればよかったと反省している。

しかしその後、いろんな憶測や誤解で混乱が生じ、けじめをつけないといけないと思い、辞職願いを提出した。不器用なやり方だった。

それにもかかわらず党執行部、衆参両院の同僚議員が混乱を収めてくれた。もう一度代表を続けさせていただき、最後の決戦にあたりたい。本日を再スタートの第一歩とし、衆院選挙対策本部を立上げ衆参一体の選挙協力体制を確立したい。

1年前、私は「政権交代を実現するために、まず私自身が変わらないといけない」と約束した。その約束を改めてかみしめ、総選挙に向けて死にもものぐるいで戦う決意をしている」

→11・8A「小沢代表、続投を正式表明—『総選挙に政治生命』—連立否定、『対決』回復—補給支援法案、衆院再議決も」「『変心』低頭、再出発—小沢氏代表続投—陣頭指揮に懸念、涙ぐみ謝罪『いかにも不器用だった』—総選挙対策、党内に覚悟」「渡辺・読売会長と森元首相が仲介役—党首会談の経緯、明らかに」「与党、敵失乗じ主導権—給油で攻撃、解散論も—首相は対話姿勢崩さず」「『ロベタ』剛腕反省—小沢氏、神妙に会見—壊し屋の部分がまた出た／腹の中、本当は何を」

→社説—A「小沢代表続投—民主党への五つの注文」／M「小沢氏続投—大連立の全容はまだ見えない」／Y「小沢氏辞意撤回—民主党の未熟な体質が露呈した」／T「大連立話—今後は首相が語る番だ」／H「小沢氏辞意撤回—これではとても納得得られぬ」

11・7

普天間移設—政府と沖縄県との協議会再開、10ヵ月ぶり—沖縄県知事、政府案（名護市辺野古崎に代替施設を造る）について「ベストではない。

可能な限り滑走路を沖合へ移動していただきたい」と計画変更の具体的方法に言及

⇒**終了後の記者会見**—**仲井真弘知事**「長年かかった問題を、早く解決しようという雰囲気は満ち満ちてきた会合だった」／**町村官房長官**「(政府案の修正について)可能性がないとは云わない」／**政府高官**(修正の可否)「シャットアウトしたら、沖縄側は交渉の場に出てこない。米国との交渉もあるし、この問題は難しい→11・上両会談(11・8A)

11・7 **食品偽装**—**老舗菓子メーカー**「平治煎餅本店」(津市)—店頭売れ残り商品を再包装し、賞味期限の日付けを替えて販売していたこと→11・7 三重県、JAS法、食品衛生法違反で立入り検査(11・8Y)

→11・9H「なぜ続発食品偽装—利益優先、大手メーカー次々政府責任、圧力で製造表示廃止—ごまかしやすく」

⇒11・10 **比内鶏偽装で強制捜査**—秋田県警など、比内鶏とグループ会社と藤原誠—社長宅など不正競争防止法違反で計6ヵ所を捜索(11・10Y夕)

11・7 **地方参政権求めて**—在日本大韓民国民団決起集会(日比谷野外、5000人) 鄭進団長「地方参政権の獲得は住民の権利。一日も早く国会で法案の成立を」と訴え—各党要請行動(11・8Y、H)

ドロ沼アフガンと防衛省 613 人の天下りと

11・6 **アフガン—自爆テロで 90 人死亡、タリバン崩壊後最悪**—北部バクラン州で国会議員訪問団を狙ったテロ—国会議員 5 人を含む 90 人死亡(11・7M)—大半が子供(11・7M夕)

→11・7A「北部も安全保てず—アフガン、戦後復興に打撃」

→11・10M夕「アフガン地方政府、広がるタリバン登用—3州で 255 人、行政区長も—地域安定に寄与、外交軍敵視は不変」

11・6 **イラク—駐留米兵 2 人、仕掛け爆弾で死亡**—07 年の米兵死者数 854 人、

過去最悪の 04 年の 849 人を超えるーイラク戦開始以来の合計死者 3857 人 (11・7A夕)

⇒11・6 **アーミー元米国防次官補** (ワシントン)、「スマートパワー」(賢明な国力) を提唱ー「我々には常に敵があり、強制的手段は捨てられない」「(米国の政策は) ハードパワーに過度に頼ってきた」「米国の指導者は(テロリストの) 挑発に過剰反応すべきではない」「世界の指導者は(テロリストの) 挑発に過剰反応すべきではない」「世界の安全保障と繁栄にとって、米中関係ほど重要な二国間関係はない」「ソフトパワーを強化することで米国は強くなる」(11・8A)

11・6 **防衛省 613 人天下り**ー00 年～06 年計 613 人天下り、計 242 社へ(参院予算委へ資料提出) /三菱重工業 38 人、日本電気 27 人、三菱電機 24 人、川崎重工業 18 人、I H I (旧石川播磨重工業) 17 人、東芝・日立製作所各 14・・ (11・7A)

11・7 **耐火偽装と天下りー性能評価機関への国交省OBの大量天下り判明** /北海道除く財団法人の 5 機関で計 25 人(延べ 32 人) (11・8T)

11・7 **薬害肝炎訴訟ー大阪高裁** (横田勝年裁判長)、原、被告双方へ和解勧告ー遅くとも 12・7 までに裁判所の和解案示す (11・8M)

→11・8M 「薬害肝炎訴訟和解勧告ー国の謝罪カギに、全面解決正念場」
「原告、リスト問題でー全員救済にこだわり」「政府、責任曖昧にー『償い』直結回避狙う」「肝炎和解勧告、『一刻の猶予もない』ー厚労相面談ー原告、早期解決訴え」「患者自己負担額一月 1 万～5 万円、肝炎治療与党 P T」

11・7 **混合診療・全額自己負担違法判決ー東京地裁** (定塚誠裁判長)、保険診療と保険外診療(自由診療)を併用する『混合診療』を実施すると保険適用される治療費全額が自己負担とする厚労省の運用は違法として原告勝訴判決 (11・8M)

→11・9M(社)『混合診療ー国の説明は患者に届いていない』 / N(社)『混合診療で患者の選択を広げよ』

- 11・7 **沖縄集団自決削除検定問題**—「社会科教科書執筆者懇談会」声明—削除・修正させた検定意見を撤回すること（11・8M）
 →11・9A(社)『集団自決検定—審議会も問われている』
 →11・10T(社)『教科書訂正—訂正—検定の透明化を進めよ』
- 11・8 **国会会期延長**—政府・与党、今国会の11・10期間を12月15日まで35日延長方針を決める（11・8A夕）→11・9衆院本会議で議決

防衛省スキャンダルと給油新法案と

- 11・8 **防衛省スキャンダル**—東京地検、軍需専門商社「山田洋行」（東京都港区）の宮崎元伸・元専務（69）＝日本ミライズ前社長を1億2000万円の業務上横領（米国子会社から約1億円を不正に引き出した）で逮捕—守屋武昌前次官との接点が焦点、「山田洋行元専務逮捕、東京地検特捜部—1.2億円横領の疑い、守屋氏との癒着焦点」—接待内偵酒席も再現、国防族議員ピリピリ」「『宮崎商店』急成長、山田洋行—政界・官僚の人脈武器、大手商事『かなわない』」
 →11・9社説—A「元専務逮捕—防衛利権の疑惑に迫れ」／M「元専務逮捕—防衛利権の闇に切り込め」／Y「元山田洋行専務—事件は防衛省まで広がるのか」／N「防衛利権めぐる疑惑の徹底糾明を」／T「元専務逮捕—防衛利権の闇を突け」
 →11・10H「防衛利権—政軍癒着を究明せよ」
 →11・10A夕「裏金、30年で5億円—山田洋行の米子会社、複数口座使う」
 →11・10M夕「防衛省天下り609人、7年間で—装備品契約、上位10社に3割」
- 11・8 **海自給油問題**—ゲーツ米国防長官、福田首相らと会談（東京）—首相「政府として早期再開に向け、最大限努力している」石破防衛相、自衛隊海外派遣のための恒久法検討の考えを説明／ゲーツ長官「日本の貢献に感

謝している」「国際的な部隊で活躍してほしい。世界で有数の裕福な民主主義国にふさわしい役割を望む」(11・9A)

→11・9Y(社)「米国防長官来日一同盟強化へ個別課題を解決せよ」

⇒11・9 **ゲーツ米国防長官、自公議員らと会談**—ゲーツ氏「(新テロ法案について) なんとかこの国会で成立させ、給油を継続してほしい。日本もテロとの戦いに加わるのが重要だ」(11・10M)

⇒11・9 **ゲーツ長官** (東京からワシントンへの機中でマスコミに)、在日米軍駐留経費の日本側負担 (思いやり予算) の削減に反対表明「日本が同盟の継続に熱心かどうかを示す象徴的な意味がある」(11・10Y)

11・9 **会期延長**—衆院本会議、会期を12・15まで35日間延長する議決(自公賛成、野党反対)(11・10Y)

11・8 **消費税上げ問題**—経済財政諮問会議で御手洗富士夫・日本経団連会長ら民間議員4人が提言「税体系の抜本的改革について」

—社会保障を支える安定財源を確保するため、消費税の役割を高めることについて検討」を提起

→11・11A「消費増税時期は触れず—政府税調、答申大枠固める」「消費税、なぜ—役者後退し急浮上—金利見通し、試算を左右—他の税目、論議低調」

11・8 **憲法審査会早期始動求める—新憲法制定議員同盟**(会長・中曽根元首相)、緊急総会(都内)—国民投票法に基づき衆参両院の憲法審議会の早期始動を求める決議採択(11・9Y)

11・8 **旧司法試験合格者発表**—07年度「旧司法試験」合格者が248人(06年より301人減)—9月発表の新司法試験合格者1751人との合計2099人(前年比541人増)(11・9Y)

11・8 **大連立期待論**—御手洗富士夫・経団連会長(日本記者クラブ)、「(参院選後) 法律が一本も通っていない現状を考え、政治家として責任を感じて解決策に乗り出したものだと私は解釈し、高く評価している」「これを契機に政策協議の機運が出てきたことは非常に良かった」(11・9A)

- 11・10A (社)「『大連立』仲介―読売で真実を読みたい」
- 11・10M(社)「『なぜ大連立』党首会談―説明不足の首相」
- 11・10Y「基礎から分かる『大連立』、2大政党共同で政権一独など欧州に先例―批判勢力の少なさ懸念も」「日本では一衆参ねじれで焦点に」
- 11・9 **会計検査院、06年度決算報告―問題会計処理451件、計約310億6420万円** (05年度473件約452億9727万円) / 法令違反の不当事件361件、計約102億円、不適切な予算執行に対し改善を求めた指摘は26件、計約209億円―22労働局、カラ残業などで8年間で1億5800万円不正経理 (11・10Y)
- 11・10T(社)「検査院報告―不正には厳しい処分を」
- 11・9 **初の自殺白書―政府、初の自殺対策白書まとめる、2016年までに自殺者数を05年比で2割以上減らすことを目標に、46項目の重点施策打出す** (11・10A)
- 11・9 **市町村数―08・7・1時点 で1788に/99・3末時点3232と比べ55%減** (11・10A)
- 11・9 **国会議員経費1人当り年3億円―政府、国会議員に関する07年度予算概要公表―1人当り3億1078万円 (予算総額2243億1078万円÷722人) / 内訳①衆議院654億7976万円②参議院420億772万円③政党助成金321億2922万円など** (11・10M)
- 11・8 **米軍事予算52兆円―米下院、総額4596億ドル (約62兆円) の08会計年度 (07・10~08・9) の国防予算を可決、対前年比397億ドル増額** (11・10H)
- 10・11H「米国のホームレス、4人に1人退役軍人―イラク帰還兵、深刻な戦争後遺症」